官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN日本代表コース～
「地域人材コース」

おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業

学生募集説明資料（５期）

おかやま若者グローバルチャレンジ応援地域協議会
（事務局：公益財団法人岡山県産業振興財団）

トビタテ！
留学JAPAN
その経験が、未来の自信。

もくじ

1. 官民協働プロジェクトの目標
2. 日本代表プログラムの５つのコース
3. 地域人材コースの目的
4. 運営体制のイメージ
5. 支援企業・団体
6. 地域人材コースの特徴
7. 留学計画の申請要件
8. 求める人材像
9. 育成したい人物像
10. 派遣留学生の要件
11. 選考
12. スケジュール
13. 留学計画の作成
14. 企業からのメッセージ
15. 昨年度（３期生）実践活動事例
16. 申請書類の作成・提出
17. お問い合わせ

官民協働プロジェクトの目標

2020年までに日本人留学生倍増

（「日本再興戦略」平成25年6月14日閣議決定）

大学生等　６万人→１２万人

高校生　　３万人→　６万人

全ての意欲ある若者に海外留学の機会を

文部科学省初の官民協働プロジェクトによる支援

日本代表プログラムの創設

民間からの寄付　200億円

学生日本代表を海外へ派遣　10,000人

※2020年までの目標

日本代表プログラムの５つのコース

理系、複合・融合系人材コース

- 理系分野、複合・融合系分野における留学を支援。新産業創出につながるような取組や実践活動を行い、産業界を中心に活躍する意欲ある学生の留学を支援。

新興国コース

- 今後成長が期待される新興国への留学を支援。

世界トップレベル大学等コース

- 世界大学ランキングで上位100位以内に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学などで、学修、研究、インターンシップ、フィールドワーク等の実践活動を行い、産業界を中心に活躍する意欲のある学生の留学を支援

多様性人材コース

- 各々の分野において、今後活躍が期待できる学生が行う留学を支援。

地域人材コース

- 地域の活性化に貢献したい人、地域に定着したい人向けの留学を地域の自治体・企業とともに支援。

地域人材コースの目的

◆海外での学修と実践活動を通じてチャレンジ精神や行動力を備え持つ骨太な人材を育成

◆インターンシップを通じて、県内企業への愛着や地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、県内企業への就職の橋渡し

目指すべき岡山の姿

- 強みが生かされ、経済活動が活発化していく地域
- グローバルに発展する岡山
- チャレンジする若者を地域を挙げて応援する社会

運営体制のイメージ

世界の人と交流して様々な体験をし、岡山の発展に貢献したい、岡山の良さを世界に発信したい…そんな意欲ある若者を産学官で応援

支援企業・団体

オーエム産業株式会社
おかやま信用金庫
KYOWA
倉敷化工株式会社
山陽新聞社
ZENO TOOLS
TAC 株式会社 タック
中国銀行
BANK トマト銀行
TOMIYA
NAKASHIMA We Go Beyond
NISSHOKU 日本植生グループ
ネッツトヨタ岡山
HAGIHARA 萩原工業株式会社
HIKARI
双葉電機株式会社
丸五ゴム工業株式会社
MINORU
RYOBI HOLDINGS
岡山県経済団体連絡協議会
岡山県商工会議所連合会
PIEF 一般財団法人 岡山県国際交流協会
公益財団法人 岡山県産業振興財団

H28年２月2日現在

＜地域人材コースの特徴＞①実践的な海外留学

留学期間：３か月以上１年以内

学生自身が立案・作成した留学計画

留学中の活動

学修活動 ＋ 実践活動

実践活動を焦点とした留学

⇒ グローバルな視点を養うための「岡山の認知度向上」をキーワードにした実践活動

学生が応募時に自ら立案

留学先大学等での学修活動

＜地域人材コースの特徴＞ ②県内企業でのインターンシップ

県内企業での留学前後のインターンシップ
（合わせて20日以上・連続でなくても可）

どんな体験がしたいか、どんな職業に就きたいか…
コーディネーターのアドバイス によりインターンシップ先を決定

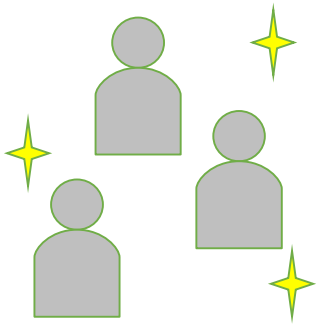
事前インターンシップ （数日程度）

◆ 受入企業と留学先での実践活動の内容について意見交換

事後インターンシップ （事後を重視）

◆ 留学での活動報告、研究成果、提案等の報告
◆ 実践的な業務を実践

＜地域人材コースの特徴＞ ③派遣留学生コミュニティ



学生

参加学生×民間企業×大学等
コミュニティの形成

民間企業

大学等

帰国後もトビタテ！留学JAPANのグローバル人材を育成するコミュニティメンバーとして、様々な交流の機会を得られます。世界を体験してきた立場から、後輩たちに留学の魅力を伝えてもらいます。

＜地域人材コースの特徴＞ ④充実した奨学金等

月額	• １２万～２０万円（留学先地域により異なる）
往復渡航費の一部	• アジア地域：１０万円 • 上記以外の地域：２０万円
授業料	• 1年以内の留学：上限３０万円まで相当額を支給

＜地域人材コースの特徴＞ ⑤事前・事後研修等の提供

事前オリエンテーション 【地域人材コース】

- プログラムの趣旨の理解、留学のための知識、インターンシップの心構えの習得

事前研修 【日本代表プログラム】

- 将来のグローバルリーダーとしての動機付け、留学目的・計画の明確化、成長と活躍に必要な土台つくり

岡山県壮行会 【地域人材コース】

- 寄付企業、インターンシップ受入企業、大学関係者などへ決意表明、交流会

事後研修 【日本代表プログラム】

- 留学体験の振り返りと今後の学生生活への接続、コミュニティ活動への接続

事後報告会 【地域人材コース】

- 留学の活動報告、研究成果・提案等の報告

留学計画の申請要件

- 平成28年8月19日から平成29年3月31日までの間に諸外国において留学が開始される計画
- 諸外国における留学期間が3ヶ月以上1年以内の計画
- 留学先における受入れ機関が存在している計画
- 在籍大学等が教育上有益な学修活動と認める計画
- 実践活動が含まれている計画

求める人材像

◆将来のグローバルリーダーとして、留学を通じて多様な素養を身につけようという意欲を有する人材

◆世界で活躍したいという意欲、又は日本において日本の良さ、地域の良さを世界に発信し、岡山から世界に貢献したいという意欲を有する人材

◆本制度で実施する事前・事後研修や留学生ネットワーク等の諸活動に主体的に参画する人材

◆県内企業等に就職する等、本県の発展に貢献することを希望する人材

育成したい人物像

選考時

- 意欲、好奇心
- 挑戦する姿勢
- 社会に貢献したいという志

留学

- 生活習慣、価値観の違い等に柔軟に対応し、自分で考え何事にもチャレンジ
- 多くの人脈づくり
- 国際感覚を理解
- コミュニケーション能力と自分の考えを伝える力の向上

インターンシップ
事後研修

- 社会人としての心構えを習得
- 社会貢献の重要性を認識
- リーダーとして必要な要素を習得

社会が求める人材へ
成長

- 国際感覚
- 挑戦する姿勢
- 組織に活力、周囲を巻き込む能力
- 国内外での広い人脈づくり
- 地域社会へ貢献

派遣留学生の要件

- 日本国籍を有する学生又は日本への永住が許可されている学生
- 本制度で実施する事前・事後研修及び留学生ネットワークに参加する学生
- 岡山県内の在籍大学等において、学位取得を目的とした課程に在籍する学生
- 岡山県内の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する学生
- 原則として、日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生

  ※詳細は別紙1-1及び1-2参照
- 留学に必要な査証を確実に取得し得る学生
- 留学終了後、岡山県内の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する学生
- 平成28年４月１日現在の年齢が30歳以下である学生
- インターンシップ等での報酬等を受ける場合は、その平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超えない学生
- 本制度の第1～4期派遣留学生でない学生
- 本制度の平成28年度後期（第5期）の他の4コースに応募していない学生

選考

選考

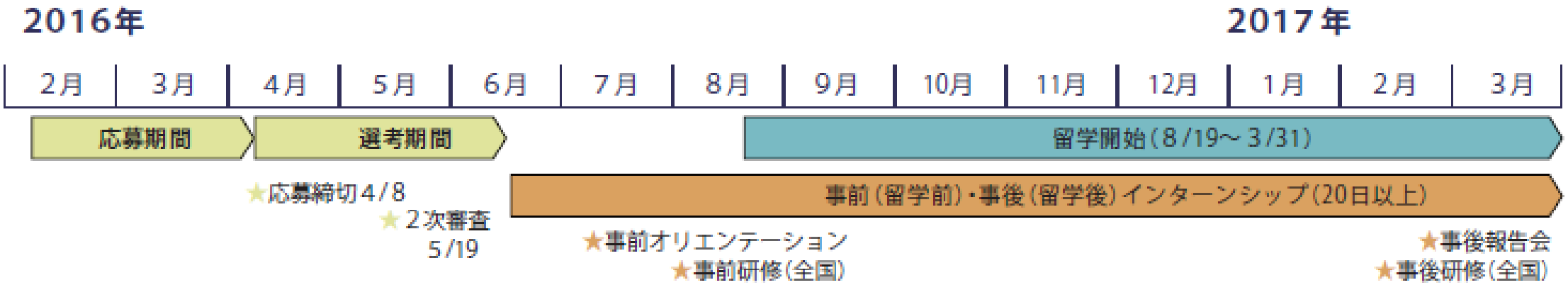
- 5名程度（予定）

  ※応募・審査の状況等により変動します。

審査の観点

- 審査の観点は計画評価と人物評価
- １次審査：留学計画（実践活動）と本人の志望動機等（書面審査）
- ２次審査：留学に対する強い意欲、留学において得た成果を将来的に地域内で活用するビジョンを有しているか等（面接審査）

スケジュール



- ◆ 在籍大学等への提出期限　：在籍大学の担当部署で要確認
- ◆ 産業振興財団への提出期限：平成28年４月８日
- ◆ １次審査（書面審査）　：平成28年4月下旬
- ◆ １次審査の結果通知　：平成28年5月上旬
- ◆ ２次審査（面接審査）　：平成28年5月19日
- ◆ ２次審査の結果通知　：平成28年6月中旬
- ◆ 事前オリエンテーション　：平成28年7月頃
- ◆ 事前研修　：平成28年8月上旬
- ◆ インターンシップ　：平成28年6月以降
- ◆ 県内壮行会　：平成28年7月末～8月上旬
- ◆ 海外留学　：平成28年8月１9日～平成29年3月31日留学開始
- ◆ 事後インターンシップ　：海外留学終了後から順次
- ◆ 事後研修　：海外留学終了後　※研修形態により変更の可能性あり
- ◆ 事後報告会　：平成29年3月頃、年1～2回開催　※研修形態により変更の可能性あり

留学計画の作成

学修活動　＋　実践活動

◆対象となる分野

　自動車・航空産業、新エネルギー、医療福祉機器、観光産業、バイオ、食品、６次産業化・農商工連携による事業や人文科学など、学生が在籍大学等で学んでいる分野

◆実践活動

　キーワードは**「岡山の認知度向上」**

　岡山県には、ものづくりをはじめとした優れた産業、温暖な気候や恵まれた自然環境、高品質な農林水産物などが豊富です。海外で岡山県の優位性を情報発信し、また、事業活動に関する課題の克服に繋がる取組を実践することにより、岡山の認知度向上に繋げます。

例えば、

- **取引拡大を目指し、本県の製品を紹介**
- **売れる商品開発のためのマーケティング調査**
- **外国人誘客の拡大に向けた観光資源の紹介、外国人のニーズに合わせた商品やサービスの提案**

企業からのメッセージ

留学先で多くの人と交流を持つことがでる実践活動

- 明るく、プラス思考でチャレンジしてほしい。
- 異文化を体験し、カルチャーショックを受けた事、困った事を忘れずに、帰国後、共有し、地域の活性化に活かしてほしい。
- 学部にかかわらず、実践活動を通じて、コミュニケーション能力の向上。

留学先での各種業界の仕組みやマーケットなどを理解する実践活動

- 現地の業界機関や企業、消費者などへのヒアリングなどにより、日本や岡山との違いを認識し、県内の業界関係者にフィードバックするなど、地域貢献する活動。

留学生にとって、新しい事にチャレンジする実践活動

- 語学力だけに頼らず、自分のテーマを遂行する行動力を伴った活動など。

昨年度（３期生）留学計画のタイトル 及び その概要

Change OKAYAMA with Transportation!　留学先：ダラスパブティスト大学

留学先大学で地域公共交通機関について学び、岡山での公共交通機関のあり方を探求したい。留学先のダラスでは大学を中心としたシャトルバス、DART、TREなどの交通網が発達しており、より広い視野から市民や顧客に対する交通サービスのあるべき姿を学んできたい。

地球の裏側から考える日本の地域活性化　留学先：シェフィールド大学

祖父が商店街で小売店を営んでいたこともあり、シャッター商店街に興味がある。留学先のシェフィールドにはそのような形骸化した商店街はないと聞き、その理由を留学中に調べ、日本に持ち帰り、岡山の商店街が自助努力できることはないか、地域の方々と一緒に探って行きたい。

岡山のものづくり技術や製品を世界各地で再現したい！県内企業の活躍で世界、日本を元気に！　留学先：州立イリノイ大学

製造業で海外で働く、育った環境が大きく違う人たちと働くというのがどういうことなのか体感したい。岡山の認知度を上げるためには県内企業が海外で活躍する必要がある。地方のものづくりの技術をもっと世界に発信したい。

岡山デニムを世界ブランドに！岡山を世界のOKAYAMAに！　留学先：州立アルバータ大学

岡山デニムを海外に売り込みたい。留学先の大学で経営学等の講義を受講し、岡山デニムを使用したワークショップを行いたい。さらに岡山デニムを使用したファッションショーを行い、留学先カナダでの評価を県内企業に報告し、製品開発につなげ今後の地域創生に役立てたい。

申請書類の作成・提出

◆岡山県産業振興財団HP「おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業」のサイトから「留学計画書」をダウンロードし、作成

http://www.optic.or.jp/okayama-ssn/

◆受入先機関の受入れ許可証等、計画の実現性を証明できる文書等（写）があれば提出

申請書類を在籍大学等へ提出

◆記入漏れや不備がないか確認
◆在籍大学等の指定する提出方法に基づいて申請書類を提出

提出期限　（大学等から岡山県産業振興財団へ）

平成２８年４月8日（金）

※在籍大学等への提出期限は在籍大学等の担当部署に確認してください

お問い合わせ

◆応募学生は、在籍大学等を通じて各手続及び質問等を行ってください。

問い合わせ先

- 公益財団法人　岡山県産業振興財団

  総務部 情報支援・人材育成課
  電　話086-286-9661
  ＦＡＸ086-286-9662

住所

- 〒701-1221　岡山市北区芳賀5301（テクノサポート岡山）

メール

- ryuugakusei@optic.or.jp

受付時間

- 8:30～17:15（平日）